

共に生きる ~多文化共生~

シュエ
イーリンさん
(ミャンマー出身)



今回は、米子市にあるリバース有限会社で日々建築設計の仕事に励むシュエ イーリンさん取材しました。ミャンマーの情勢について、まだまだ安全ではないと語る中にも、明るい笑顔と仕事に打ち込む前向きな姿勢が印象的でした。

日本の技術を学ぶきっかけ

日本は地震をはじめ自然災害が多いため、地震に強い建築物をつくる耐震構造や環境に配慮した都市計画における街づくりについて、ミャンマーでは学ぶことのできない内容の勉強をしたくて日本の大学に留学しました。ミャンマーではほぼ地震がないので、とても興味深く勉強になっています。また、日本に来て初めて一人暮らしの学生生活をスタートさせましたが、留学生ひとりに対して学生ひとりが6ヶ月間サポートする大学側のサポートシステムのお陰もあり、アパート探しや市役所の手続きをはじめガス開栓の立ち会いなど困ったら日常的にサポートして頂いたので大変助かりました。色々和学生時代に経験から学んでいたこともあり、米子での新生活のスタートについてスムーズに自分ができるようになっていました。

学びを仕事に活かす

設計室で1年半、働いています。主に倉庫や鉄工所の図面をかくことやイメージデザイン、お店のレイアウトの提案など任されています。その為、自分としても勉強になることも多く、仕事を通してチャンスが与えられていることを実感し日々頑張っています。

また、ミャンマーでは建築物のルールがない為、建物の構造のルールや建物の種類や大きさなどのルールについて、現場で教えていただきながら知識や経験を積み重ねています。加えて、施工図をかく時、実際の現場の細かな状況がイメージできないこともあり、詳しく理解できるまで調べることや同僚に聞くなど大変なことも多いですがやりがいを感じています。

わたしの好きをチカラに

米子の暮らしは、海や山、川など自然が豊かで嬉しいです。先日、ミャンマーの料理講座にも参加し、地域の方々と料理をつくりながらお話をするなど楽しく交流することができました。



📷 地域の方々とミャンマー料理づくり

コロナ禍でもあり、みなさんと一緒に食べることはできなく持ち帰りでしたが、ミャンマーは食べ物美味しいので、お勧めです。

また、運転免許を取得し、行動範囲も広がりました。四季折々の大山を満喫し、南部町にある図書館の建築を見たくて出掛けるなどプライベートも充実しています。私は、大きな建物でも小さな建物でも太陽の光や木、風など自然と調和している安らぎのある建物が好きです。建物をじっと見つめていると、「すごく考えているな」と気づきや発見があり、「コレすごい!」と知恵と技術を見つけることがとても楽しいです。

より豊かな将来に向けて

日本の技術は信頼できるため、たくさんのことを学び続けたいです。世界とつながりながら、学び合いながら建築に携わっていきたくと願っています。まだまだ経験が浅いですが、難しい漢字を勉強し、建築士の資格を取得したいと考えています。いつか将来、自分の知識や経験、技術をミャンマーに活かせるように貢献したいと思っています。



📷 建物の図面について説明

リバース有限会社 池淵設計部長より一言



リンさんの優しさや前向きな明るさで、職場の雰囲気も穏やかになります。日々のミーティングは専門用語が多い中で新しい日本語の習得も大変だと感じますが、果敢に取り組み建築設計のエキスパートを目指している姿に私たちも刺激を頂いています。これからも、持ち前の明るさで頑張ってください。職場の皆も応援しています。

we are われら“鳥取人”

県内在住の外国出身者に鳥取に住んで
感じることを紹介していただきます！

鳥取に住むことになった経緯は？

私の名前はアイエレ・アルマウ・フェンタ、エチオピア出身です。私は 2015年4月に日本政府の奨学金で博士課程の学生として来日しました。博士課程修了後、まずはポスドクター(博士研究員)として、次に鳥取大学乾燥地研究センターの気候変動対応部門の特任助教として、恒川篤史教授の指導の下、働く機会を得ました。私の研究は、差し迫った科学のおよび社会的課題に取り組むことを通じて、乾燥地の持続可能な開発に貢献することです。

エチオピアについて教えて！

東アフリカに位置するエチオピアは、日本から約10,000km離れています。1964年の東京オリンピックを覚えている世代は、優勝したアベベ・ビキラを思い浮かべるかもしれません。エチオピアは、コーヒーの発祥の地として誇りを持っています。コーヒーの起源については多くの伝説がありますが、エチオピアのヤギ飼いのカルディが、飼っているヤギが特定の木の赤い実と親近感を持っていること、そして彼らがその実を食べたときとても元気になって夜に眠ることができなかつたという話があります。今日、エチオピアの名前カルディ(Kaldi)は、世界中のコーヒー



エチオピアのコーヒーセレモニー

ショップの著名なブランド名です。伝統的な茶道がある日本と同様に、エチオピアは伝統的なコーヒーセレモニーで知られています。

鳥取7年目

アイエレ・
アルマウ・フェンタさん

エチオピア出身・鳥取市在住



意外に多い、鳥取のエチオピア人

現在、鳥取県には約26人のエチオピア人が住んでおり、そのうち13人が学生、5人が鳥取大学の研究者・職員、残りはその家族です。鳥取県は、東京に次いで日本で2番目に大きなエチオピア人コミュニティを擁しています。鳥取大学は、エチオピアのパハルダール大学との共同研究を通じてエチオピアでよく知られています。これまでに鳥取大学に6名の客員教授と30名以上の博士課程学生が在籍しています。COVID-19が流行する前、エチオピア人はエチオピアの新年、クリスマス、イースターを祝うために鳥取市国際交流プラザに集まっていた。

鳥取県は第二の家

鳥取のエチオピア人は、「Ethiopian Community Association in Tottori(略してECAT)」を立ち上げようとしています。ECATの設立目的は、第一にエチオピア人が日本の習慣、法律、ライフスタイルに適応しながら自立すること、第二にエチオピアと地域社会との間の文化交流プログラムを促進することです。

日本は平和な国であり、人々が親切、おもてなし、敬意を重んじることで知られていますが、私たちは滞在中にそれを目の当たりにしています。鳥取県に住むエチオピア人にとっては、第二の家のように感じられます。鳥取県のエチオピア人は、地域の皆さんの理解と支援に深く感謝しています。



JICA

デスクより
お知らせ

鳥取県から3年ぶりにJICA海外協力隊が派遣されます

2022年9月12日、ベリーズにソーシャルワーカーとして派遣される船江祥子さんが鳥取県交流人口拡大本部長、境港市長を表敬されました。これまで日本で培ってきた社会福祉の経験を活かし、健康と安全を第一に実りある2年間の隊員生活を送れるように、皆様から激励を頂きました。出発は10月末、任期は2024年10月末までとなっています。



県から「とっとり国際協力大使」の委嘱を受ける船江隊員(左)

JICA海外協力隊特設サイトはこちら

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

TPIEF Yonago Intercultural Exchange Festival 2022

Thanks to protocols against the spread of Covid-19, the Yonago Intercultural Exchange Festival is back after a three-year hiatus. With a great turnout of participants and visitors alike, the event was well worth the wait.

With its motto "the festival that brings everyone together," the festival was the work of a planning committee composed of participants. Although no eating or drinking was allowed on the premises, sales of goods, exhibits and performances brought the countries and cultures of the world to the venue. Since TPIEF in cooperation with the City of Yonago is currently making emergency preparedness a core component of its endeavors, displays of emergency goods were a prominent feature. Since normally there is little opportunity to visit this many disaster-related items, the event was a great chance for foreign residents to develop their interest and awareness. Many positive comments were received, with visitors reporting their excitement and enjoyment at having the festival back after so long. We'll be very much looking forward to seeing you all again next year!



Opening Performance

Màn trình diễn mở đầu

开幕式表演



Blooming Flowers in the Backs of Kimono

Các đóa hoa rực rỡ từ thắt lưng kimono

和服腰带开出一朵朵美丽的鲜花



An Intercultural Shopping Experience

Mua sắm để trải nghiệm văn hóa nước bạn

在购物中也能享受不同文化乐趣的商品



Fascinating Folk Craft from around the World

Các mặt hàng thủ công đặc sắc của các nước

世界稀有民间工艺品的展览



Disaster Readiness Handbook

Giải thích về sổ tay phòng chống thiên tai

防灾手册的说明

Interview with Volunteer

This was my first time as a volunteer. Seeing how much fun all the participants and visitors had really made an impression on me. I thought it was wonderful how everyone worked together from the stage performers to the relay and all the shift work involved in making the event such a success. (Ms Yoshii)

TPIEF Upcoming International Exchange Festivals in the Prefecture

- **Kurayoshi Intercultural Festival 2022.**
11am-2pm (Sunday) 20 November at Houki Shiawase no Sato.
- **34st Annual TIME Festival: Come, Enjoy and Take Home the World!**
11am-3pm (Wednesday holiday) at the Torigin Bunka Kaikan.





Lễ hội giao lưu quốc tế Yonago 2022

Lễ hội giao lưu quốc tế Yonago đã được tổ chức lại, sau 3 năm tạm hoãn để góp phần hạn chế dịch Corona lây lan. Với sự góp mặt của các đoàn thể tham gia, cộng thêm sự có mặt của đông đảo khách tham quan, lễ hội đã được tổ chức thành công tốt đẹp.

Với phương châm “Cùng nhau tạo nên một lễ hội”, ban điều hành gồm các tổ chức tham gia lễ hội được thành lập để phụ trách khâu chuẩn bị. Do dịch bệnh, tuy không thể ăn uống tại lễ hội nhưng khách tham quan đã được tận hưởng không khí giao lưu thông qua các tiết mục giới thiệu nền văn hóa của các nước trên thế giới, hay qua báo cáo hoạt động hàng ngày, theo ba hạng mục: triển lãm, bán sản phẩm và văn nghệ. Chúng tôi cũng đã kết hợp với chính quyền thành phố Yonago để tổ chức triển lãm các sản phẩm phòng chống thiên tai nhằm nâng cao ý thức của người dân. Cư dân nước ngoài thật sự hứng thú vì ít có cơ hội tận mắt nhìn thấy nhiều loại sản phẩm phòng chống thiên tai. Đây là cơ hội quý giá để họ hiểu sâu hơn về sự cần thiết của việc phòng ngừa thiên tai. Chúng tôi nghe đâu đây những giọng nói vui mừng từ khách tham quan, như “Tôi rất hào hứng và mong chờ được tham dự”, hay “Tôi rất vui khi có thể tham gia sau một thời gian dài bị hoãn”. Chúng tôi tha thiết mong rằng sẽ gặp lại gương mặt rạng rỡ của các bạn vào năm sau. Nhất định như thế!

Chúng tôi đã phỏng vấn tình nguyện viên tham gia lễ hội

“Lần đầu tiên tôi tham gia với tư cách là một tình nguyện viên. Tôi ấn tượng bởi sự vui vẻ của cả đoàn thể tham gia lẫn khách tham quan. Tôi nghĩ sẽ thật tuyệt nếu tổ chức một lễ hội mà sau phần biểu diễn của mình, người biểu diễn sẽ giới thiệu tiết mục tiếp theo, hay bên điều hành và tổ chức tham gia chia ca, hỗ trợ nhau để tạo nên một lễ hội chung.” (Bà Yoshii)

Thông báo về các lễ hội quốc tế sắp tổ chức trong tỉnh

- **Lễ hội giao lưu quốc tế Kurayoshi**
20/11/2022 (Chủ nhật)
Tại Hoki Shiawase no sato Từ 11:00 ~14:00
- **Lễ hội giao lưu quốc tế Time Festival lần thứ 34 (Năm 2022)**
「Come, Enjoy and Take Home the World ~Văn hóa các nước! Về đây tụ hội~」
23/11/2022 (Thứ tư, nhằm ngày lễ)
Tại Torigin bunka kaikan Từ 11:00 ~15:00

中文版文摘



2022米子国际交流欢乐节

我们采取了预防新冠病毒传播的措施，时隔三年举办了“2022米子国际交流欢乐节”。参与团体以及各位来宾许多人都前来参加了这个期待已久的盛事。

这次的欢乐节是以“共创(大家共同筹备)”为口号，成立了由参与团体组成的执行委员会，并为这个节日进行筹备。虽因新冠疫情会场内不得饮食，但我们通过将欢乐节内容分为展出和贩卖物品，舞台表演3个部分，在现场举办了日常活动报告以及介绍世界各国文化等等，会场始终沉浸在快乐的交流气氛中。此外，为了加深对防灾工作的理解，米子市和财团还共同举办了防灾用品展览。由于能实际看到多种防灾用品的机会很少，这次展览也成为了有很大必要提高外国人士对防灾的兴趣以及加深理解的宝贵机会。还听到来宾们高兴地说：“我满怀期待、很兴奋的来到了会场”，“又能再次参加时隔许久的欢乐节，非常高兴”等等。

我们也期待着明年一定能再次与大家相见！

我们采访了志愿者吉井女士！

“我是第一次作为志愿者参加了此次活动。参与团体以及到场的各位来宾每个人都很开心的样子令人印象深刻。觉得表演者之间以接力的形式介绍下一个舞台上的团体，以及参与团体通过轮班制，携手合作共同创建的欢乐节真棒！”

县内举办的国际交流欢乐节信息

- **仓吉国际交流欢乐节2022**
11月20日(周日) 伯耆しあわせの郷 11:00~14:00
- **第34回(2022)タイム国际交流欢乐节**
「Come, Enjoy and Take Home the World~集合! 世界各国文化~」
11月23日(周三·节假日) とりぎん文化会馆 11:00~15:00



賛助会員募集のご案内

あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い参加のもとに、自立・参加型の国際交流事業や多文化共生事業等を推進しています。趣旨に賛同し、当財団を支援して下さる賛助会員(個人/団体)を広く募集しています。

年会費

- 個人会員 1口 2,000円
- 学生会員(高校生以下) 1口 500円
- 団体会員 1口 10,000円

《期間》 毎年度4月1日から翌年3月31日まで

入会方法

各事務所へご連絡ください。
「振込用紙/入会(継続)申込書」をお送りします。



協力店を紹介します!★

中国庭園 燕趙園

中国河北省との友好提携を記念して建設された日本最大級の中国庭園。中国歴代皇帝が愛した皇家園林方式の庭園を忠実に再現しています。園内では毎日開催している中国雑技ショーが人気。またチャイナドレスをレンタルして写真撮影も楽しめます。



住所: 東伯郡湯梨浜町引地565-1 定休日: 1月・2月の第4火曜日 (祝日の場合は翌日)
電話: 0858-32-2180
営業時間: 9:00~17:00(最終入園16:30) ホームページ: <https://www.encho-en.com/>

賛助会員カードの提示で

入園料を2割引(3名様まで)

会員の特典

- 財団機関紙「とっとり国際通信」の送付
- 財団図書の貸し出し増冊サービス (5冊/回→10冊/回)

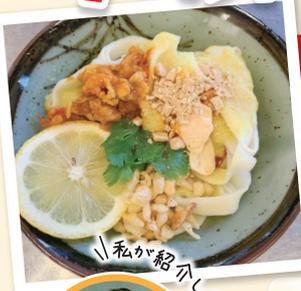
NEW 外国出身スタッフとのチャット

- 提携飲食店、観光施設等での割引など → (お店、語学・趣味・文化、観光施設等、旅行・宿泊)



ワールドレシピ! ~ World Recipe ~

世界の味を
おうちで味わおう!



今回の料理は

ミャンマー トーフヌエ



ヘイントウ ザウさん

彩り豊かなミャンマーの絶品ローカルフードを紹介します。よく混ぜて食べるのがポイントです!

1. チェッターヒン(ソース) 5人分

材料

- 鶏もも肉 1枚
- 塩 小さじ1
- チリパウダー 少々
- ターメリック 少々
- サラダ油 適量
- ニンニク 2~3かけ
- 玉ねぎ 2分の1
- トマト 1個

作り方

- 1 鶏肉を1センチに切り、塩・チリパウダー、ターメリックで10分もみこむ。
- 2 ニンニクと玉ねぎをみじん切りし、チキンと一緒に油で炒める。
- 3 チキンが焼けたら荒く切ったトマトを入れ、チキンがかぶる程度の水を入れ中火で30分煮込む。

2. ひよこ豆ソース 5人分

材料

- 茹でたひよこ豆 500グラム
- ターメリック 小さじ2程度

作り方

- 1 ひよこ豆をつぶし、ひよこ豆に対して2倍の水を入れ15分置く。
- 2 ①を火にかけて、ターメリックを入れ中火でトロトロになるまで煮込む。

3. 盛り付け

- 1 きしめんを茹で、器に盛り付ける(麺は、きしめんを代用します)。
- 2 麺の上に①チェッターヒンと②ひよこ豆ソース、醤油、をかける。
- 3 お好みでパクチー、スライスレモン、天かす、ピーナッツ、ラー油を加える。



本所

Head Office / 本所

〒680-0846
鳥取市扇町21番地 県民ふれあい会館3階
TEL: (0857)51-1165 FAX: (0857)51-1175
E-mail: tic@torisakyu.or.jp

利用時間

平日 9:00~18:00 (土・日) 9:00~17:30
祝日・年末年始はお休みです



倉吉事務所

Kurayoshi Office / 倉吉事務所

〒682-0802
倉吉市東巖城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL: (0858)23-5931 FAX: (0858)23-5932
E-mail: tick@torisakyu.or.jp

利用時間

平日 8:30~17:15 土・日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



米子事務所

Yonago Office / 米子事務所

〒683-0043
米子市末広町294 米子コンベンションセンター4F
TEL: (0859)34-5931 FAX: (0859)34-5955
E-mail: ticy@torisakyu.or.jp

利用時間

平日・日 9:00~17:30
土・祝日・年末年始はお休みです



公式Facebookページ 「とっとりニコニコ」

QRコードからアクセス



英語/やさしいほんご版



中国語(簡体字版)



中国語(繁体字版)



ベトナム語版

公益財団法人

鳥取県国際交流財団

<http://www.torisakyu.or.jp/>

